

ロープウェイ入口電停周辺

景観まちづくり ニュースレター

vol.3

発行者: 札幌市地域計画課
発行日: 平成27年3月

第3回意見交換会を行いました

- 第3回の意見交換会には山鼻第12・第18町内会を中心とした地域住民の皆さんにお集まりいただきました。
- 今回は「自分たちにとってのロープウェイ地区のまちづくりテーマと、具体的な環境イメージ」についてグループごとに地域の目線で意見交換を行いました。
参加者の皆さんからいただいた様々なご意見は、裏面でご紹介します。



景観まちづくりに関する 取組を行っています!!



- 路面電車の路線ループ化などの機会をとらえ、沿線地区の景観的な魅力を高めていくための景観まちづくりの取組を行っています。
- 平成25年度から地域特性の把握や意見交換などを始め、平成26年度以降も地域の皆さまと意見交換を行いながらガイドラインづくりを具体的に進めていきます。ガイドライン策定後は、ガイドラインに基づいた取組を展開していく方針です。

ガイドライン作成に向けたスケジュール



自分たちで取組めそうなことのアイディア(2回目までの振り返り)

- ここまでの意見交換で「6つの大切にすべきこと」(右図)や、たくさんの景観まちづくりの「取組のアイディア」が出されました。
そのうち自分たちや地域内外の様々な団体などと協力しながら取組めそうなことを話し合いました(下記)。

- 1. 沿道緑化・花植え活動**(小学生や高校生などと協力して)
→電停周辺からロープウェイ入口までの沿道の演出
→シャトルバス乗り場周辺の演出・・・など
- 2. 冬ならではの景観づくり**(小学生や高校生などと協力して)
→「雪あかり」や「かまくらづくり」などを実施できないか
- 3. 地域の魅力を地域内外にPR**
→藻岩山や、藻岩山から水道記念館に抜ける散策路のPR
→来街者へのマナー啓発や、周遊・回遊を促す休憩スポットの案内(振興公社、店舗等との連携)



- 4. 観光客の案内**
→地域でボランティアガイドを出来ないか
- 5. 地域の色などを考える**
→看板や建物のコンセプトカラーを決めるなど、街並みに統一感を持たせたい

裏面に
つづく

1. 自分たちにとってのまちづくりのテーマ&イメージ



こんなまちにしたい!こんな暮らしがいい!

■こんなまちにしたい!

- 子どもが安心して暮らせる、お年寄りにも優しいまち。
- 訪れる人にいいまちだと思ってもらえるまち。
- 藻岩山をシンボルとして、緑の中で心静かに暮らせるまち。
- 「藻岩山といえばこのまち」というようなまち。

■こんな暮らしがいい!

- 藻岩山の自然や緑と一体となる暮らし。日々の暮らしの中で自然を感じとれるように。
- 静かな環境は大事⇒ロープウェイや飲食店など観光的な資源を活かすことも大事。

■その他、感じたこと

- 「6つの大切にすべきこと」(表面参照)は「誰が」関わるのかよくわからず、無機質な印象がある。
- “人”が環境を作っていくなど、有機的な言葉が必要。

藻岩山がまちづくりの中心

まちづくりのテーマ案

- 藻岩山のみどりと質の高い暮らしがあるまち
- 藻岩山が人をつくり、人が藻岩山をつくるまちに
- 藻岩山散策路の緑豊かなしぜんの中で閉静さを大切にしながら子どももお年寄りも心豊かに暮らせるまち

2. 具体的にどのような環境にしていきたいか~主にハード面について~

(1)今あるものをより魅力的にするために

■花とみどり、暮らしが一体となる

- 日々の暮らしでみどりが感じられるようにする。
- 環状通などの街路樹の枝葉を整える。
- 環状通沿いへの花植え活動を継続していく(植え替え含む)。
- 花植え活動が周辺に連鎖していくようになることと良い。そのため、マンション前への植栽、宅地内の庭づくりやガーデニング、空地活用から仕掛けていってはどうか。

■電停付近

- 電停自体をもっと良くした方が良い。例えばベンチ設置などの休憩機能、誘導サインなどの案内機能、観光客向けの雪よけ、利便性の向上など。

■歩いて楽しめる環状通り

- 地区内外を歩いて巡るような回遊性を高める(例えば、藻岩山散策路を円山までつなげる等)。
- 電停から藻岩山までは、歩いて楽しめるような通りが良い。

■全体の景観とまちの雰囲気

- 電線などの地中化をする。
- 秩序のない賑わいではなく、“みどり”から伝わる彩りがにじみ出すような雰囲気をつくる。
- ロープウェイを中心に考え、そして広がっていくようにする。
- 人が訪れる魅力づくりのために今ある資源として「人・自然・店舗」を繋げる。

(2)新しく作る時に気をつけたいこと

■電停付近・シャトルバス乗り場

- 電停付近は、藻岩山などのみどりが活きるシンプルなデザインが良い。また、電停自体もロープウェイ入口にふさわしいものが良いのではないかと(他電停との差別化)。
- シャトルバス乗り場に、ベンチや手荷物置きを設置を。

■街路樹を活かしたみどりづくり

- 樹木(街路樹など)を増やしていくことは、すぐには難しい。
- 街路樹だけでなく地先に、小さなみどりを増やしてはどうか。

■全体の景観とまちの雰囲気

- にぎわいと暮らしのバランスは大事。
- 質の高いお店があると来訪者が増えるのではないかと。また、まちの魅力が感じられる場所に新たなお店が出店することなども考えられる。
- 屋外広告物は規制していくべき(山などを撮影する際に阻害する)。
- 街路灯なども周辺の環境に合わせた、素敵なデザインに。

(3)継続していく時に気をつけたいこと

■地域情報の発信

- インターネットなどのメディアの広告を活用する。
- 地域をまきこんだマップづくり(カフェなども入れて)。
- ※現在、地域の取組として登山客用に地域マップを作成中。

■地域住民や事業者などの声を聞く

- 回覧やポスターなどでPRし、アイデアをもっと集める。
- 訪れる人からの一言コメント・感想をもらう。
- 投函箱を設置してはどうか(電停・山麓駅など)。
- 学校の活動で地域のことに取り組んでもらい児童の意見も聞いていく。

■活動の取り組み方

- 町内会や商店街のタイアップ・連携
- 住んでいる人も協力してやらなければいけない。



今後の予定について

- 平成26年度はガイドライン作成に向けて3回の意見交換を実施する予定です。
- 第4回を下記日程で行います。参加希望の方は、右の連絡先までご連絡ください。



第4回
3月13日(金)
13:30~15:30
於:伏見小学校
できそうな取り組みの
活動内容の検討など(予定)

お問い合わせ先

札幌市 市民まちづくり局
都市計画部 地域計画課
担当:山田、堀、山本
TEL:011-211-2545
FAX:011-218-5113

URL:<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/keikan/index.html>

